

## 自治体病院の安定経営及び医師確保支援を求める意見書

少子高齢化社会を迎え、地域住民の安全で安心な生活が保障されるためには、地域における医療環境の整備・充実が極めて重要な課題となっている。

こうした中において、自治体病院は地域医療の中核として、救急医療、小児医療、周産期医療、高度医療、特殊医療など多くの不採算部門を担いつつ、医療供給体制の確保と医療水準の向上に努めている。

しかしながら、新医師臨床研修制度で大学が地方に派遣していた医師を引き揚げたことなどにより全国的に医師不足が深刻化し、加えて医師の地域偏在や診療科偏在が社会問題化するなど、地方を中心に地域医療を担う医師の不足が深刻化している。特に不足する診療科については、勤務医の過重労働、医療訴訟のリスクなどの要因から医師希望者が減少するなどの悪循環により医師の確保が極めて困難な状況にある。

これらのことから、真に必要とする良質な医療を安全に、かつ継続して提供する自治体病院の社会的使命達成のために、また、地域住民が身近な生活圏内で適切な医療サービスが受けられるよう、国の責任において、次の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

### 記

1. いのちを守る緊急の課題として医師養成を図るとともに、医師不足・偏在を是正するため、医師の適正配置の仕組みを構築するなど、医師提供体制の整備について、国の制度や方針を確立すること。
2. 特に地方において深刻化している医師不足の解消を図るため、勤務医の過酷な勤務実態を踏まえた処遇改善、及び診療報酬の抜本的見直しを含む適切かつ充実した施策を講じること。
3. 救急医療をはじめ、小児・周産期・高度医療等の不採算部門に対して適切な措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年10月2日

|        |    |    |   |
|--------|----|----|---|
| 衆議院議長  | 伊吹 | 文明 | 殿 |
| 参議院議長  | 山崎 | 正昭 | 殿 |
| 内閣総理大臣 | 安倍 | 晋三 | 殿 |
| 財務大臣   | 麻生 | 太郎 | 殿 |
| 総務大臣   | 新藤 | 義孝 | 殿 |
| 厚生労働大臣 | 田村 | 憲久 | 殿 |

静岡県藤枝市議会  
議長 水野 明